

		E Z - W I N総合評価シート			23.10.15 (日) 京都11R G1秋華賞 芝2000m内A 3歳牝馬 馬齢 15:40																	
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	前走評価
7	32	×	1	1	栗)フェステスパント	牝3	55	17		△			3,1	2,11	1,5	6	47	6	酒井学	藤岡健		
21	34		1	2	栗)ハーパー	牝3	55	3	C				8,3	6,9	7,6	26	91	35	C. ル	友道康		B
4	41		2	3	栗)マラキナイア	牝3	55	10		△			12,4	5,3	7,1	0	7	16	池添謙	吉岡辰		B
21	34	▲	2	4	栗)コナコースト	牝3	55	7	B	△	★		13,6	2,12	7,4	10	101	9	鮫島克	清水久	R	
11	49	○	3	5	栗)ドゥーラ	牝3	55	5	C	注	D		10,2	14,2	15,9	37	98	18	斎藤新	高橋康		A
21	67	◎	3	6	栗)リパティア일랜드	牝3	55	1	A	注		AA	7,1	15,1	9,3	60	74	63	川田将	中内田		AA
4	36		4	7	栗)マスクトディーヴァ	牝3	55	4		△	D		9,2	10,1	7,3	21	79	18	岩田望	辻野泰		B
5	44	×	4	8	美)モリアーナ	牝3	55	6				A	16,1	13,5	7,4	40	96	30	横山典	武藤		B
5	30		5	9	美)ミシシッピーテソーロ	牝3	55	15					7,4	8,2	6,7	0	0	11	石川裕	島山	R	B
5	35	×	5	10	美)グランベルナデット	牝3	55	9					5,12	2,5	11,4	18	194	0	松山弘	大竹正	WT	
11	22		6	11	美)キタウイング	牝3	55	18					11,5	16,11	17,2	0	0	6	江田照	小島		
21	37		6	12	栗)ドゥアイズ	牝3	55	11		△			17,5	9,7	3,9	10	208	9	西村淳	庄野靖	R	
4	35		7	13	栗)ラヴェル	牝3	55	8			C	A	7,13	3,9	14,4	10	101	16	坂井瑠	矢作芳		B
4	38	×	7	14	栗)コンクシェル	牝3	55	16		注			3,13	1,1	1,1	6	47	6	幸英明	清水久	展	B
5	40	★	7	15	美)ヒップホップソウル	牝3	55	2		注		A	4,7	10,3	11,2	27	55	30	横山武	木村	展	A
7	40	×	8	16	栗)ピピオラ	牝3	55	14		注			3,3	4,2	10,1	20	272	11	藤岡康	武幸四		
5	58	×	8	17	栗)ソレイユヴィータ	牝3	55	13		注	D		2,15	2,1	4,5	20	250	11	武豊	杉山晴	TR	
5	39	×	8	18	美)エミュー	牝3	55	12		血		雨	10,5	17,12	13,4	0	21	11	M. デ	和田郎	枠	

【血統傾向】

内回りコースの2000mで行われるG1レースなので、スローペースの瞬発戦にはなりづらく、持続戦か消耗戦になりやすいレース。

注目血統は欧州型ノーザンダンサー系。
父(父母父)か母父に欧州型ND系を持つ馬に注目です。

人気薄で馬券に絡むのは「父か母父がキングマンボ系」

苦戦しているのは「母父米国型」で、
過去8回の京都開催で馬券に絡んだのは3頭しか居りません。

【脚質傾向】

内回りコースながら、ほとんど前残りが発生しておりません。
前走脚質についても同様で、前走で前に行っていた馬の
馬券絡みは過去8年で6頭のみ。

秋華賞本番では、上り3Fタイム順位が5位以内だった馬が
20頭馬券に絡んでおり、末脚の要求度が高いレースである事を示しております。

ただ、33秒台の上りが出たのは、スローペースになった2016年と、
弱持続ラップとなった2018年の2回だけで、持続戦や消耗戦で

メンバー上位の末脚を使える「差し・追込み馬」が優勢なレースと考えられます。

だからこそ、欧州血統が重要になるのが秋華賞と言うレースでございましょう。

【前走傾向】

臨戦過程は、京都開催の直近3年では、オークスからの直行組が優勝。オークスで2人気以内か3着以内だった馬の直行ローテは侮れません。

また、紫苑SがG3昇格した16年以降は、紫苑S組がローズS組よりも先着を果たし続けおり、紫苑S5着以内馬に注目したいと思います。

その他の路線も含めて、前走が重賞で、1人気で3着以内に好走していた馬は複勝率50%！侮れない存在となります。

◎6番リバティアイランド

特に書くべきこともありませんが・・・

この馬は3歳牝馬ではなく、古馬の牡馬だと思ってください。

この後の出走予定は未定だそうです、ジャパンカップにはノーザンファームの意向もあり

出走しない見通しだそうですな。

その本当の理由は……

歴代賞金王が掛かるイクイノックスを
負かしてしまう可能性があるから。
と言うのがもっばらの噂でございます。

ノーザンファームがそういう判断をするからには、
それ程の成長を確信しているからでございますよ。

オークスの時も内目の3枠でしたが、
誰も近づいて行かない様子を見て、
他のNF生産馬には「邪魔すなよ！」という
天の声が届いていたのかも知れませぬ。

ちまたで言われるような
「内で囲まれて追えない」と言う状況は
同系列の牧場生産馬が出走馬の半数以上を占める
このレースでは考えにくい所でございますな。
なにせ今回は3冠が掛かっておるのですから。

ここで見栄を張って、この馬の評価を下げる事に
何の意味もないだろうと考えております。

○5番ドゥーラ

父ドゥラメンテに母父が欧ND系キングハイロー。
祖母父がステイゴールドで、持久力と末脚を要求されるような
中距離競馬に適性の高い配合馬でございます。

マイル路線では活躍できませんでしたが、
中距離路線では世代上位の力を持っている事は明らか。

札幌で見せるような、早目に捲る競馬が出来れば上位争いでありましょう。

★15番ヒップホップソウル

父キタサンブラック、母父ファルブラブ(欧ND系)、
祖母はダンスインザダーク・ダンスパートナーの全妹。
母の半妹カイザーバルは秋華賞3着馬。

母父ファルブラブは、2000m以下の持久力勝負に強い
フェアリーキング(サドラーズウェルズの全弟)の産駒。

紫苑Sは「超差し有利馬場」で差し有利な消耗戦を先行して2着。
先行馬が総崩れとなった中での2着は、勝ち馬以上に強い競馬でした。

オークスは距離が長く、直線半ばの坂に削られ失速しましたが、
キタサンブラック産駒は内回りコースに適性が高く、
距離短縮と内回りは、この馬にとって大きなプラス材料。

初めての長距離輸送が鍵になりますが、
今回の関東厩舎の中では、最も西遠征に実績のある
木村厩舎の管理馬であり、「関東馬だから割引き」
という必要はないと思います。

当日の気配次第にはなりますが、
厚めに買いたいと考えております。

▲4番コナコースト

キタサンブラックの代表産駒には、小回り・内回りが得意な産駒が多く、
有馬記念、宝塚記念を勝ったイクイノックスや、皐月賞馬ソールオリエンス、
ダート重賞活躍馬ウイルソンテソーロなどが出ております。

本馬はバレークイーンの子系出身で、
この子系からは、ダービー馬フサイチコンコルドや
菊花賞2着のリンカーン、アリストテレス、皐月賞馬ヴィクトリー、
ダービー3着アドミラブル、京成杯と弥生賞で連対したボーンキングなど、

多くの中・長距離重賞活躍馬が出ており、そういった血統背景から距離適性が短めに出る牝馬でも、2000mは十分に守備範囲だと考えられます。

また、父か母父にキングマンボ系を持つ馬が人気以上に走る傾向があるレースだけに、ND系の血が薄い事以外に突っつくべき重箱の隅は見当たりません。

前走のオークスでは、スタートで他馬と衝突する不利で後方からの競馬となりましたが、直線だけで7着まで追い上げておりまだ底を見せたとは言えないと考えております。

持続戦の桜花賞で、先行して2着に踏ん張った底力は、決して侮れないものであり、内回りコース替わりは追い風でございましょう。

前目のポジションで競馬しても、残せる可能性が高い馬だと考えております。

その他の馬に対する評価は、全頭診断書をご参照くださいませ。

馬券

EZ-WIN 推奨馬券
馬連・3連複3頭ボックス
5番・6番・17番

くまもん馬券
ワイド3頭ボックス 4・5・15
3連単フォーメーション30点
◎6番⇒ 4・5・15 ⇒ 印全頭